

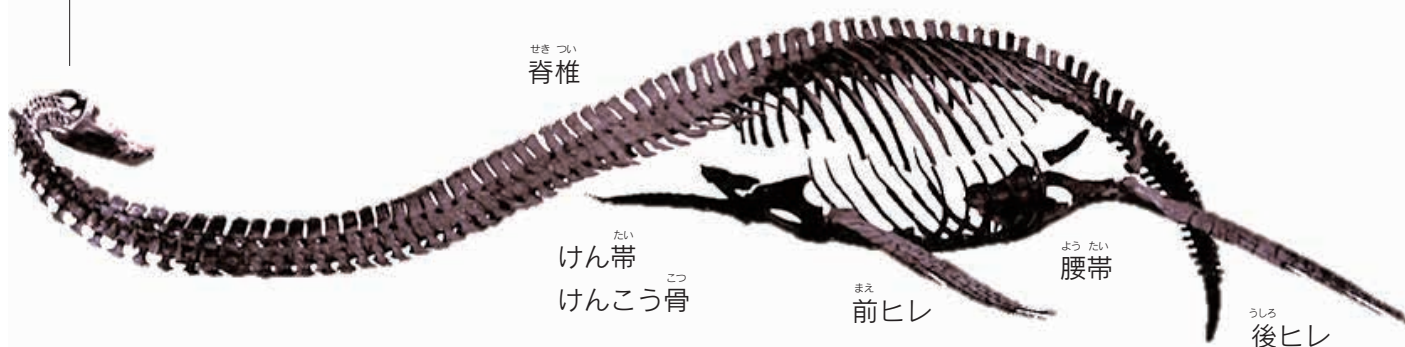
たからものずかん

いわきの化石

せき つい どう ぶつ へん
- 脊椎動物編 -



フタバサウルスの頭骨



フタバサウルス スズキイ ふくげん 体長 6m50cm

いわき市大久町板木沢産 約 8,500 万年前白亜紀後期 肉食 海生

新属新種のくびが長いタイプのクビナガリュウのなかまで、骨格の70%が産出されています。日本では最も保存状態がよい資料です。

(国立科学博物館資料より引用)

2014

公益財団法人いわき市教育文化事業団

いわきの恐竜時代の化石 I (8,900 ~ 8,500 万年前)



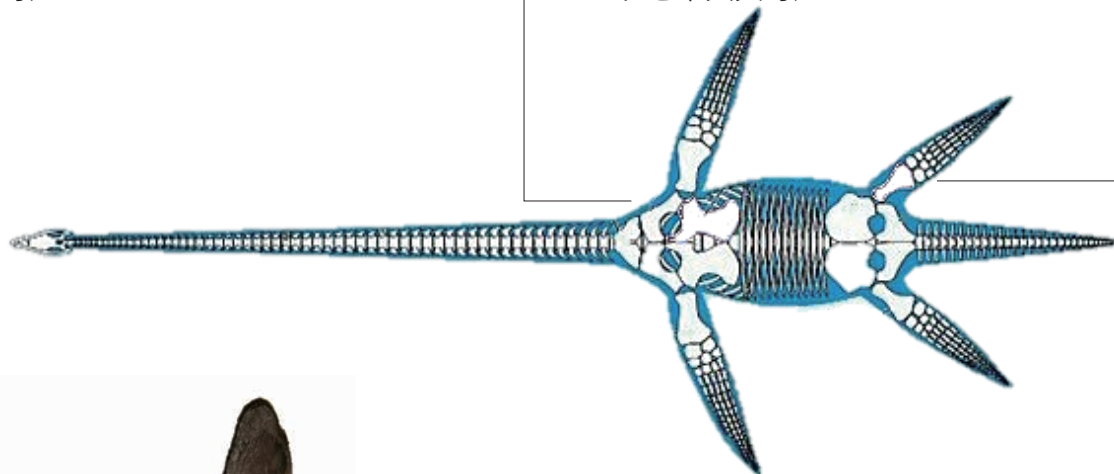
フタバサウルスのなかまのウコウ骨 ×0.18

いわき市大久町産 肉食 海生



フタバサウルスのなかまの大たい骨 ×0.16

いわき市大久町産 肉食 海生



フタバサウルスふくげん骨格図

(国立科学博物館資料より引用)

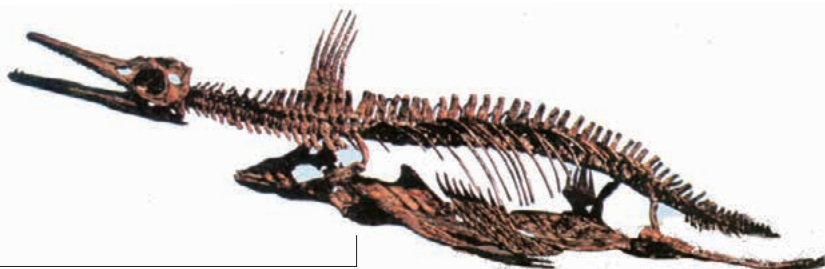


イワキリュウのウコウ骨 ×0.13

(トリナクロメルム)

いわき市大久町産 肉食 海生

フタバサウルスと同じ時代の海にいた、くびが短いクビナガリュウのなかまです。橋本一雄氏らによって発見されました。



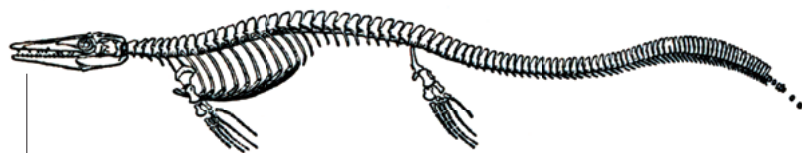
トリナクロメルムのふくげん骨格

いわきの恐竜時代の化石Ⅱ (8,900～8,500 万年前)



モササウルスのなかまの^{した}下あご ×0.88

いわき市大久町産 肉食 海生



モササウルスのなかまのふくげん^ず図

モササウルスは、とかげのなかまから進化して海で生活するおおがた^{かい せい}海生はちゅう^{るい}類です。

ラッセル (Russell 1967 より引用)



ハドロサウルスのなかまのせきつい^{こつ}骨 ×0.44

いわき市大久町産 草食 陸生



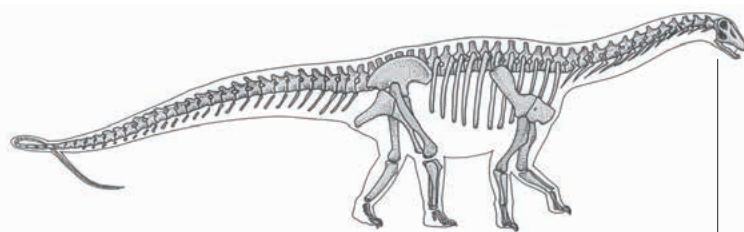
ハドロサウルスのなかまのふくげん^{こつ かく}骨格

いわきで見つかるハドロサウルスのなかまは、もっともげん^{てき}し的ななかまです。



ティタノサウルスのなかまの^は歯 ×1.55

いわき市大久町小久産 草食 陸生



ティタノサウルスのなかまのふくげん^ず図

ティタノサウルスのなかまのなかには、体の長さが40mにもなるものもありました。

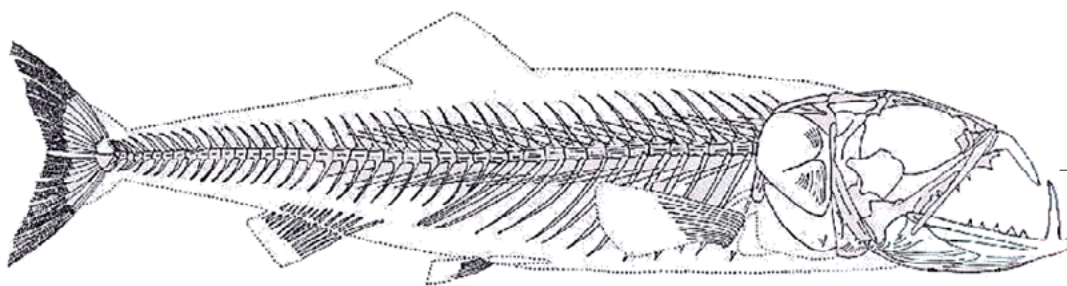
だいきょうりゅうてんず^{ろく} (大恐竜展図録より引用)

いわきの恐竜時代の化石Ⅲ (8,900 ~ 8,500 万年前)

エンコードスの上あごの歯と・下あご ×0.91

いわき市大久町産 肉食 海生

フタバサウルスと同じ海にいたヒメのなかま
で大きな歯をもったさかなです。

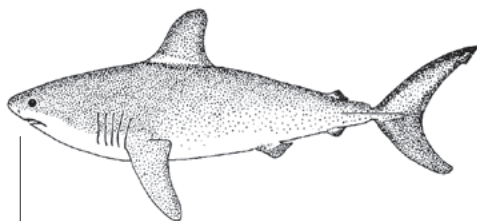


エンコードス(ヒメ目ぎょ類)の骨格図



現生のミツクリザメ

コンバークノ (Compagno 1984 より引用)



現生のネズミザメ

コンバークノ (Compagno 1984 より引用)



スカパノリンカス(サメ類)の歯 ×2.23

いわき市大久町産 肉食 海生

ミツクリザメのそせんのなかま。

クレタラムナ(サメ類)の歯 ×2.8

いわき市大久町産 肉食 海生

ネズミザメのそせんのなかま。

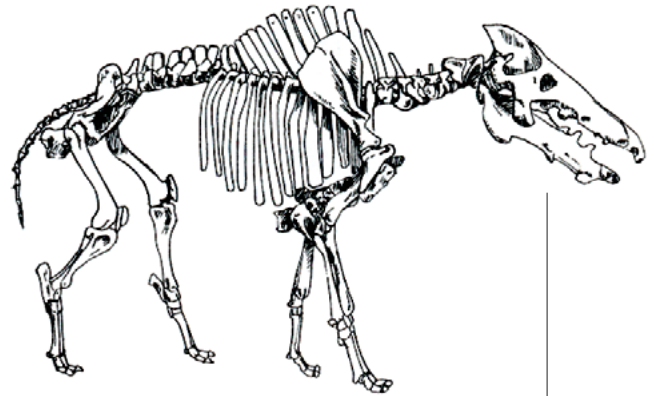
いわきの石炭をつくった時代の化石 I (3,400 万年前)



エンテロドンの歯 ×0.94

いわき市の炭こうのなか 雑食 陸生

イノシシに似た大きな動物です。



エンテロドンのなかまの骨格図

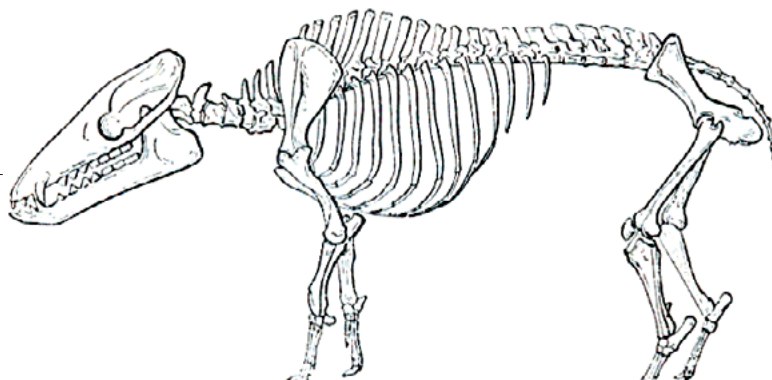
スコット (Scott 1937 より引用)



炭じゅうのなかまの上あご ×0.87

いわき市小川町産 雑食 陸生

カバに似た動物で、ヨーロッパでは炭層からよくみつかることから炭じゅうとよばれています。



炭じゅうのなかまのふくげん骨格

スコット (Scott 1937 より引用)

いわきの石炭をつくった時代の化石Ⅱ (3,400 万年前)

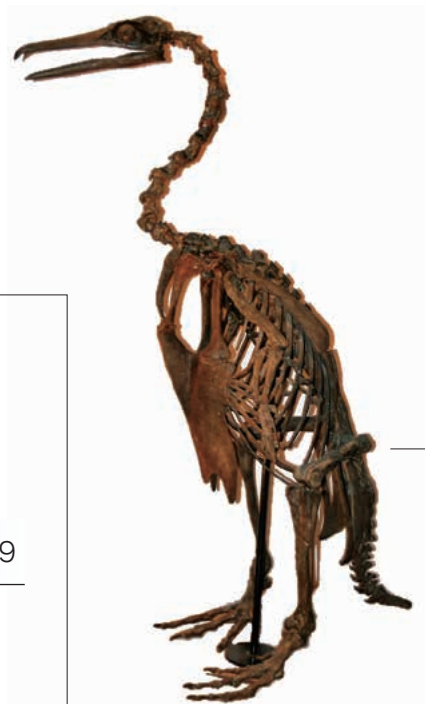
プロトプテルム

ペンギンにたとべない鳥で、ペリカンのなかまとされていましたが、さいきんの研きゅうでペンギンそのものだと考えられています。



プロトプテルムのなかまの大たい骨 ×0.29

いわき市内郷産 肉食 海生



プロトプテルムのなかまのふくげん骨格

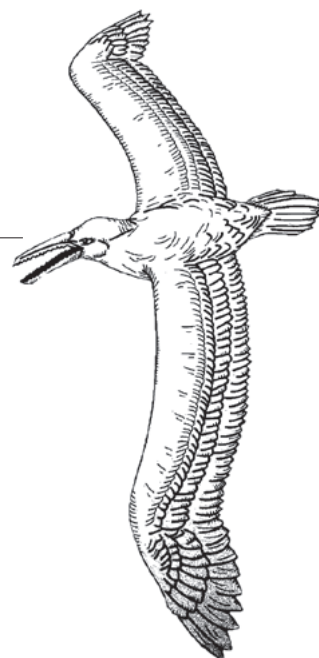
骨しつ歯鳥

くちばしがのこぎり歯のようになったぜつめつしたおおがたの鳥です。



骨しつ歯鳥のなかまの上あご ×0.7

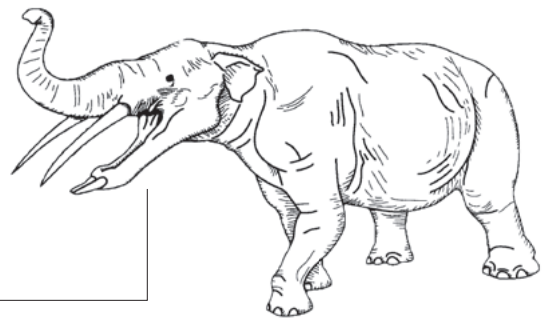
いわき市小川町産 肉食 海生



骨しつ歯鳥のなかまのふくげん図

(いわき市石炭化石館展示資料より引用改変)

イワキゾウの時代の化石 (1,600 万年前)



イワキゾウの下あご ×0.1

(ステゴロフォドン)

いわき市いわきニュータウン産 草食 陸生

イワキゾウのふくげん図

(いわき市石炭化石館展示資料より引用改変)

当時のいわきは熱たいで、その大地には4本のぞうげをもったふるいタイプのイワキゾウがいました。



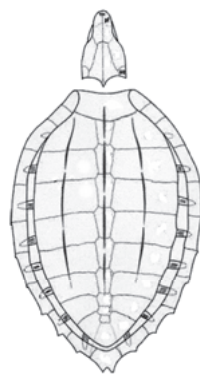
ケテリウム骨格 (ウィキペディアより引用)



ナカヤマコウヨウクジラの頭骨 ×0.07

いわき市いわきニュータウン産 プランクトン食 海生

いわきの熱たいの海にはげんしのなひげくじらのなかまであるナカヤマコウヨウクジラがいました。



シロムスのこうらと頭骨

(長谷川他 2005 より引用)



シロムス(うみがめ)のこうら ×0.15

いわき市平中山産 肉食 海生

ナカヤマコウヨウクジラがすんでいたおなじ海には小がたのウミガメのなかまのシロムスがいました。

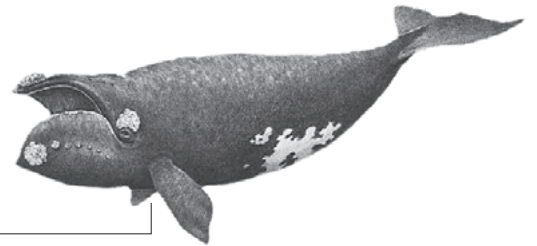
イワキクジラの時代 (400～300万年前)



イワキクジラ ×0.023

いわき市四倉町産 プランクトン食 海生

イワキクジラと呼ばれているクジラ化石は、数種のクジラのなかまが含まれています。現在まで四倉町では16個体のクジラ化石がかくにんされています。このクジラはセミクジラに近いなかまです。



現生セミクジラの生たい図

(ウィキペディアより引用)



パレートダスの歯 ×0.68

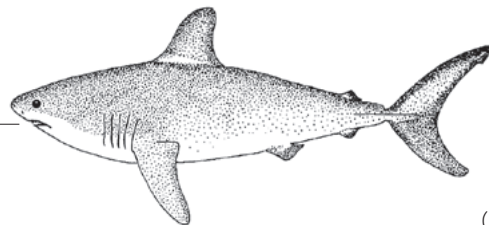
いわき市四倉町産 肉食 海生

ムカシホオジロザメに近いなかま
と考える研きゅう者もいます。

ムカシホオジロザメの歯 ×0.67

いわき市四倉町産 肉食 海生

ぜつめつしたネズミザメのなかまで
13mにもおよぶ大きな体をもって
いました。



現生ネズミザメ

コンバーグノ (Compagno 1984 より引用)

いわきの化石

化石年表	(新)	6550万年前	新	第四紀
			生	第三紀
	(古)	2億2500万年前	中	白亜紀
			生	ジュラ紀
			代	三疊紀

(掲載した化石の時代)